

クリスマス朗読劇

「私のクリスマスプレゼントは平和な心」

登場人物

- 主人公 高橋 希望 (中学生の女の子)
- 希望の父
- 希望の母
- 希望の弟 あきと (小学生の男の子)
- 田中 恵美 (クリスチャンの友達)
- 恵美の母
- れな (友達)
- えりか (友達)
- 涼太 (友達)
- 牧師先生 (教会の牧師先生)
- 山田先生 (中学生の先生)
- ナレーター

① 劇に登場する五つの絵文字のご紹介

(5つの絵文字が順番に登場する)

黒い心「おれは黒い心だ。毎日、いやなことばかりで汚れているんだ。

嘘、羨み、わがまま、怒り、ケンカ、いたずらなどの罪の

思いで人を汚して悩ませたり不安にさせたりする。」

血「僕は赤い血だ。世界の人間が誰でも罪から救われるために

流された救い主の清い血。」

白い心「僕は白い心だ。罪の汚れから完全に清められた、平和の心。」

新芽「僕は緑の芽だ。白い心から芽生えた新しい命はこの僕だ。」

キラキラマーク 「僕はキラキラマークだ。白い心を持つ人が
やがて行く、幸せな所の輝きを示す。」

② 黒い心のページと繋がるシーン (12月22日) (月曜日か火曜日)

「ピピピピ」 (目覚まし時計)

希望 ふわあ～、もう朝か。うーん。(のびをする) 今日は月曜日か。...まあ、家にいるよりマシかー。家にいると家族が口うるさいし。わたしのやりたいこと、親は全然やらせてくれないし、弟の相手もめんどくさいし...はあー。

ナレー 中学生の希望には悩みがたくさんある。希望はしぶしぶ起きて、黙って朝ご飯を食べた。「いただきます」も「ご馳走さま」も言わずに、家族を無視してスマホをいじりながら食べ終えた。

希望 「行ってきます。」

母 「はい」

ナレー お母さんは希望のほうを見ずにお皿を洗っていた。

「キンコンカンコン」 (学校のチャイム)

希望 やば。ギリギリ間に合った。あ、えりかちゃん、おはよう。

えりか おはよー。ねえねえ、けんと君のこと聞いた？テストのズル、先生にバレて、めっちゃ怒られてたよ。

れな 山田先生ちょう厳しいって。わたしはバレなくてよかったー。ギリギリセーフ。
(笑)

えりか れなちゃんもズルしたの？

れな いやいや、友達の答えと一緒にだったかチラッと見ただけよ。

希望 それ、ズルじゃね？

れな 友達の答えなんてあってるか知らないし。それに、少しのカンニングなんてズルじゃないよ。皆やってるし。シーツ！あの子が来たよ。

恵美ちゃんおはよ。聞いた？ けんと君、カンニングがバレたって。恵美ちゃんはいつも勉強しなくても良い点数取るもんね。ねえ、バレないカンニング方法教えてー

ナレー 周りの生徒たちにじっと見つめられて、恵美の顔は真っ赤になった。れなのいじめには何も言い返さず、恵美はそっと教室まで急いだ。

えりか あの子は真面目だよ。ズルしたなんて一度も聞いていないよ。

黒い心を出す

れな (不機嫌そうに) 知ってる。でもいつも成績がいいなんてムカつく。ズルいなー。

黒い心を隠す

ナレー 希望は黙ってれなの話を聞いていた。実は、希望は恵美のことが好きだった。いつも誰よりも優しくしてくれたからである。せめて、れなに「ひどい。」ぐらいの一言でも言えたはずだったが、れなの顔が不機嫌そうで、怖くて何も言えなかった。でも恵美のことがずっと気になって、授業に全然集中できなかった。

「キンコンカンコン」(学校のチャイム)

ナレー 授業が終わり、希望は恵美を探した。そして、恵美の姿を見つけて、ドキドキしながら近づいた。恵美に気づかれる前に、やっぱり話しかけるのはやめようと思ってそっと離れた。しかし恵美は振り向いて、希望に声をかけた。希望は恵美の優しい微笑みを見て少しホッとした。

恵美 希望ちゃん、あら、どうしたの？

希望 恵美ちゃん...ごめん。朝のこと...

恵美 朝のこと？ ...ああ、あのこと。いいよ。気にしないで。(そういえばそんなことあったな、という風に)

ナレー 恵美はにっこりと微笑んだ。

恵美 一緒に帰ろう。

ナレー すでに暗くなっていた中を、2人はおしゃべりしながら帰った。希望は、理由はわからなかったが、恵美と一緒にいる時はいつも安心して落ち着くことができた。

恵美の家に着いて、2人はおしゃべりをやめた。希望はずっと聞こうと思っていたことを思い切ったずねた。

希望 ねえ、恵美ちゃん。どうしてれなに嫌なことを言われても怒らなかったの？

恵美 怒っても仕方ないよ。あの時、聖書の言葉を思い出したんだ。

希望 聖書の言葉？ どんなの？

恵美 「だれかが右の頬を打つなら、左の頬をも向けなさい。」って。誰かに嫌なことをされたら、嫌なことを返さないでそのまま黙って受けた方がいいと思って。

希望 え一つ、ムリムリ、私ならできないよ。絶対に言い返すか後でやり返すと思う。恵美ちゃんはすごいね。いつも優しくて。

白い心を出す

恵美 何もすごくないよ。神様はいつも助けてくれるし、いつも私に優しくしてくれるの。だから他の人にも優しくしてあげたいの。

希望 神様... (ひとりごとっぽくつぶやく)

白い心を隠す

恵美 ね、希望ちゃん、今日はうちの教会で集会があるんだけど。来てみない？

希望 集会？ 何するの？

恵美 皆で聖書のお話を聞いたり、神様をほめる歌を歌ったり、祈ったりするの。

希望 ありがとう。けど、私には難しそう... キリスト信者でもないし、教会に行ったこともないし。

恵美 いつもは教会に通っている人が集まるけど、聖書やキリスト教のことを少しでも知りたいなって人も結構見学しにくるよ。…ああ、安心して、何かを押し付けたりはしないから。だから一度でもいいから来てみて欲しいな。みんな優しいよ。

ナレー 希望は迷った。教会のことは前から気になっていた。どんな人がいるのか、聖書にはどんなお話が書かれているのか。恵美みたいな人がいるなら行ってみたいと思ったが、やっぱり教会のことは知らないなので、少し怖くて遠慮した。

希望 先に親に聞いてみないと分からないかな…。ごめんね。後でラインするね。一緒に帰ってくれて本当にありがとう。

ナレー 希望は恵美と別れて、色々考えながら家に帰った。

「ガラガラ」(玄関のドア)

希望 ただいま。

母 も～、やっと帰ってきた。さ、おばあちゃんの家まで送っていくから早く着替えて。そうそう、宿題忘れないでね。

希望 ばあちゃん家？ なんで？

母 今夜はあきとのバスケ少年団の大会でしょ。前に「行かない」って言ってたから、おばあちゃんの家で待ってて。

希望 今日もバスケかあ。…でもママ、私中学生だよ。留守番なんて1人でできるから。いつもばあちゃん家に預けるの、やめて欲しい。

母 希望、おばあちゃんの家に行くのをいつも楽しみにしていたんじゃないの？

希望 もう飽きたよ。ばあちゃん家の漫画も全部読んじゃったし。

母 ほら、文句言わないで。スマホ持って行けば漫画読めるでしょ。早く支度して！

希望 行きたくないって。留守番できるから。

母 いいから早く着替えなさい！

ナレー そう言って、お母さんは出かける仕度に戻った。

「どンドン、バタン」(階段をのぼり、部屋のドアをしめる音)

ナレー 希望は着替えながら、恵美の誘いをふっと思い出した。

「ガチャ、どんどんどん」(部屋から出て階段をおりる音)

希望 ね、ママ。今思い出したけど、今日、恵美ちゃんの家には誘われたの。宿題持ってくから、行ってもいい？

母 恵美ちゃん？ ...ああ、あの静かな子ね。勉強もできる子だよ。 (ため息) わかったよ、今日はおばあちゃんの家に行くのやめよっか。

ナレー 希望は早速、恵美にラインした。恵美のお家に着くと、夕ご飯の準備中だった。

恵美の母 希望ちゃん、いらっしやい。あら、ママが送ってくれたのね。寒いから、中に入りなさい。教会の件、大丈夫か今希望ちゃんのママに聞いてくるわね。

ナレー 希望は恵美の家に初めて入った。あちこちにクリスマスの飾りがあった。

(スライド：キャンディーケインや鈴や安らかそうな冬景色の飾り)

だがサンタさんやトナカイはなく、「地球に平和あれ」や「たみみな喜べ」や「きよしこの夜」と書いてあるクリスマスカードが飾ってあった。

ふと、希望の目が、キレイだけれどもとても不思議な飾りにとまった。

(スライド：イエス様が誕生した場面の人形飾り)

恵美は、希望がその飾りを不思議そうに見つめているのに気づいて、こう言った。

恵美 これはね、イエス様の誕生を忘れないように、毎年飾ってるのよ。イエスさまは世界のみんなを救うために来たんだよ。クリスマスは、元々イエス様の誕生をお祝いする日なのよ。

ナレー 恵美の優しい表情は、何か素晴らしいことを知っているように輝いた。

恵美の母 恵美、希望ちゃん、ごはんだよー

恵美と希望 はーい！

恵美の母 希望ちゃんを教会に連れてってもいいって、ママが言ってくれたわよ。

恵美 やった！ 隣に座ろうー

ナレー 希望は恵美の家族と夕食をたべて、皆の嬉しそうな顔とおしゃべりに心惹かれた。そして...恵美のことを少し羨んだ。自分の家族のことを恥ずかしく思った。

食べ終って、恵美は希望の弟たちと片付けを手伝ってから、みんなで教会に行った。

ナレー 希望は少しドキドキしながら教会の建物に入ったが、すぐに暖かい空気に包まれ、まるで別の世界のような教会の雰囲気の中で夢中になった。皆は楽しそうに讃美歌を歌って、牧師さんの祈りに合わせて目をつむりながら頭を下げ、最後に声を合わせて「アーメン」と言った。牧師さんは、紙芝居を使いながらイエス様の誕生をわかりやすく教えてくれた。

牧師はスクリーン上の紙芝居を使って、イエスの誕生について簡単に説明します。

(スクリン、テレビ、または紙芝居でイエス様の誕生の絵を見せる)

牧師 それでは、解散する前に、いくつか連絡事項があります。聖歌隊の皆さん、このあと20分ほど歌の練習をします。それと、田中さんは今夜、恵美ちゃんのお友達を連れて来てくれました。帰る前にぜひ声をかけてあげてください。参加して下さったことを大変嬉しく思います。(希望に向かって) ぜひ、日曜日のクリスマス会にも来てくださいね。

それではみなさん、クリスマス会の協力、よろしくお願いします。ありがとうございました。

ナレー 希望は何人かの教会の人に紹介された後、席に戻って、聖歌隊の練習を聞いていた。恵美も家族のみんなも楽しそうに歌っていた。「きよしこの夜」も「たみみなよろこべ」は、希望にもなじみのあるクリスマス曲だったが、初めて聞く一つの曲は、家に帰っても、心の中に響いていた。

♪ (特別賛美「クリスマスの日には鐘の音が聞こえた」) ♪

ナレー 聖歌隊の練習が終わり、希望は家まで送ってもらった。希望は家族に教会のことを話そうとしたが、弟がバスケの大会で優勝した話で盛り上がっていたため、言い出せなかった。

あきと 姉ちゃん！ パパがアイスを買ってくれたんだ。残念だね、姉ちゃんも一緒にきてたら、アイスを食べれたのに。

希望 (弟を羨む) アイス？ アイスなんていつでも食べれるし。

黒い心を出す

あきと やあー 「優勝おめでとう」ぐらい言ってくれないの？ ひど。

希望 全道で優勝したわけでもあるまいし。

あきと 羨ましいから言ってくれないんでしょ！

母 全道でなくても優勝したんだから、せめて「おめでとう」ぐらい言ってあげなさいよ。

希望 オ・メ・デ・ト。 はあー。宿題してくる。

黒い心を隠す

ナレー 希望は部屋に行って宿題をやり始めたが、やがてすぐに、ベッドの上でスマホをいじり始めてしまった。しばらく経ってやっとスマホから目を離れた時、ため息をついた。一日のことを色々振り返った。希望の胸は不安や不満でいっぱいだった。

希望 やだなあー。何をしても、なんか虚しい。親はいつも弟を甘やかしててムカつく。えこひいきだもん。全然私のことを考えてくれないし…。恵美の家族、幸せそうだったな…羨ましい… 教会も楽しかったなあ。

ナレー 部屋に飾ってたサンタのプーさんが目に入った。

希望 クリスマスカ。赤ちゃんのイエス様は、人のために地球に平和を……本当かな。私は全然平和じゃないけど。…願い事が一つだけ叶うなら、今年のクリスマスは心の平和が欲しいな。

白い心を出す

ナレー その願い事をサンタさんに頼めばいいのか、それとも家の仏壇の仏様が、または今日話を聞いたイエス様なのか……。一体誰に頼めば良いのか悩んでいるうちに、希望は寝てしまった。

白い心を隠す

③ 赤い血のページと繋がるシーン

「キンコンカンコン」(学校のチャイム)

れな ねえねえ、りょうくん、私がクリスマスに何を頼んだか知ってる？

涼太 知らねえ、そんなの。(笑)人形？ ネックレス？

れな 男子もほしいものだよ。

希望 男子はゲームとスポーツしか分からないんじゃない？

涼太 なんだよお。

れな ぶぶー、時間切れ。私ね、新しいスマホ買ってもらうんだー！ でも新しいタブレットも欲しいなあー。

涼太 いいなー

れな (自慢そうに)だから言ったじゃない。ねえねえ、ももかちゃんのクリスマスプレゼントはヴィトンの財布って言ってたよ。大人っぽーい！

希望 ももかちゃん一人っ子だし、親はお金持ちだし。いいな～

涼太 僕は普通にゲーム頼んじやったよ。

希望 だから言ったでしょ。男はゲームとスポーツにしか興味ないんだもん。

涼太 そういう希望は、プレゼント何頼んだんだよ？

れな そう、そう。何頼んだ？

希望 私はね、 私はね、...

ナレー 心に平和が欲しいと言ったら絶対に笑われると思って、希望は本当の願いごとを言えなかった。しかし、それ以外に欲しいプレゼントは何も思いつかなくて、とまどっていた。

希望 私はね・・・特に何も頼んでないんだ。開けてびっくりの方が良いと思って。

れな （面白くなさそうに）ふうーん、そうなんだ。あのね、さやかちゃんのプレゼントはさ、...

ナレー ここで希望は会話からそっと抜けて、恵美を探した。

希望 恵美ちゃん、昨日、ありがとうー

恵美 あ、希望ちゃん！ 昨日は集会にきてくれて本当にありがとう！ どうだった？

希望 色々よく分からなかったけど、楽しかったよ！

恵美 よかった！クリスマス会は来れそう？

希望 また親に聞いてみるけど、行きたいな！ あ、ねえ、聞きたいことあるんだけど。

恵美 あっ、そろそろ次の授業！ 今日一緒に帰ろうーその時でもいい？

希望 大丈夫！ じゃあまた帰りね！

学校帰り

ナレー 希望の心の中に、教会について恵美に聞きたいことがあふれていた。学校帰り、イエス様のことも、平和のことも色々聞いた。

希望 あの歌...あの歌に出てきた、「地上に平和、人々に善意あれ」って...どう言うこと？イエス様はみんなに平和を与えてくれるってこと？

恵美 そう、みんなはさ、罪に汚れて不安でしょう。それで...

希望 罪！？！ みんなが犯罪者って言うこと？

黒い心を出す

恵美 あっ、ごめん。あのね、罪ってさ、犯罪とか逮捕されることを想像すると思うけど、実は聖書では、皆は神様に対して罪を犯しているんだと教えているの。神様に完璧に従える人なんて一人もいないんだって。…嘘とか、ねたみ、自慢、わがまま、ケンカとかは全部神様のルールを破って他の人を傷つけるものなのに、人は皆そんなことばかりするよね。

黒い心を隠す

希望 れなちゃんのことだったら分かるけど…いい人もたくさんいるんじゃないの？ 恵美ちゃんだって、みんなに優しいし、誰にも嫌なことをしないし。

恵美 私？ 私は皆と一緒にだよ。もし私の心の中を見られたら、嫌なことも恥ずかしいこともたくさんあるよ。罪は、実際に行動にうつすにしても、心の中に抱くだけにしても、人を同じく汚すのよ。私も神様に対して罪を山ほど犯しているの。

希望（びっくり、少しホッとしたように言う）へえ？…恵美ちゃんもそうなの？

恵美 うん。だから、皆と同じく罪を犯すし、悩みごとや不安もたくさんあるよ。

希望 恵美ちゃんでも色々不安になるんだったら…心が平和な人っているのかな…？

白い心を出す

恵美 まあ、不安な時や難しいことはまだあるけど。…実はね、それを一つ一つ乗り越えられる力があるのよ。

ナレー 希望は驚いて、立ち止まった。恵美の顔をじっと見た。恵美の目は、恵美の家で、二人で話していた時と同じくらい輝いていた。

恵美 その力ってどんなものか知りたい？

希望 うん。

白い心を隠す

恵美 イエス様が私の罪を全部赦して、私の心をキレイにして、神様との平和を与えてくれたの。

希望（人形を思い出しながら）…あの、赤ちゃんのイエス様が…？？？

恵美 そう、まだ知らないもんね。神様の息子のイエス様は、ずっと罪も悪いこともせずに大人になって、完璧に神様のルールを守ったのよ。イエス様は、私も皆も愛してくれていたから、私たちを助けるために自分の命をささげてくれたの。

赤い血を出す

希望 自分の命をささげた...？ そこまでして...死ぬことで皆を助けたの？

恵美 うん。あのね、私はこの間、この聖書の言葉を暗記したんだー「神はそのひとり子を世に遣わし、その方によって私たちに、いのちを得させてくださいました。ここに、神の愛が私たちに示されたのです。私たちが神を愛したのではなく、神が私たちを愛し、私たちの罪のために、なだめの供え物として御子を遣わされました。ここに愛があるのです。」

希望 ナダメのソナエモノ...？

恵美 私たちは罪を犯しているから、本当は神様から厳しい罰を受けるべきなんだけど...イエス様に来て、私たちが赦されるように、神様の怒りを宥めて自分の完璧な命を捨てて、私たちの罪を代わりに背負って、十字架にかかって死んでくださったの。

赤い血を隠す

ナレー 希望は深く考えた。恵美が信じる神様は、人のことを心配して助けてくれる神様のようだった。確かに、恵美は神様に愛されているから安心そうに暮らしていた。どんな難しい目にあっても、それを乗り越える力もありそうだった。そう感じたけど、その神様は、希望のことも愛してくれるのかは分からなかった。今まで希望は、恵美の神様のために何も線香も供え物もお祈りもしてこなかったからです。しかも、恵美のように、優しく、良い人でもなかった。だがそこで、希望の心の中には、誰かに愛されたい気持ちが燃えた。

希望 ...本当にイエス様は誰でも助けてくれて、心を平和にしてくれるの？ 心がヤバイくらい汚くて、悩みがたくさんあっても？

恵美 うん。誰でもイエス様を信じるなら、イエス様はその人を罪から助けて、心を洗って平和にしてくれるよ。私にもそうしてくれた。でも時々、イエス様の助けを求めないで自分の力や能力で頑張ろうとして、焦ったり、失敗したり、不安になったりするの。

...そうだ。

ナレー そこで恵美は、カバンの中から小さなパンフレットを出した。

「絵文字福音」のパンフレットを出す

恵美 イエス様のことをもっと知りたいなら、後でこれを読んでみて。

ナレー 希望は不思議な絵文字のメッセージが載ったパンフレットを恵美からもらって、街灯の明かりの下で、最初のページにさらっと目を通した。

希望 ありがとう。

恵美 25日、クリスマス会に来れそう？

希望 お家に帰ったら、お母さんに聞いてみるね！

「ガラガラ」(玄関のドア)

希望 ただいま！(ちょっと嬉しそうに)

ナレー 希望はコートとブーツに積もった雪を払い落とした。...家の中はシーン。誰も答えてくれなかった。そこで希望はリビングからテレビの音が聞こえた。

希望 ただいま！！

ナレー 今度も返事はなかった。家の中は暖かったが、希望の心は冷たくなった。急に寂しい気持ちにおそわれて、自分の部屋に急いだ。

希望 私のこときらいじゃん。家族に無視されてる。

ナレー 希望はベッドに座った。思わずポロツと涙がこぼれた。

「LINE」(LINEの音)

ナレー 希望は素早くスマホを手にとって、LINEを見た。しかし、すぐに顔がこわばった。恵美からのLINEだと思ったのに、学校の友達のLINEグループからだった。

(スクリーンまたはテレビでLINEチャットのビデオを見せる)

(A〜DがLINEのメンバー、美由がターゲット)

A ねえ、今日マジで美由ウザくなかった??

B わかるー!! わら

C モテたいからってぶりっこしすぎ

C なんで男子はあんなのにひっかかっちゃうんだろーね?

希望 (わかるー系のスタンプ)

D ほんとに性格終わってるのにね

B 今日「クリスマスプレゼント〇くんからデイオールのポーチもらうんだあ💖💖💖」って自慢しててきしょかった

A やば

A (やばそうなスタンプ)

C もらえなかったら今使ってるやついらなくね?

D いないと思いまーす

D 隠すか

B えぐ!!!

A いつも机にあるからよゆーでとれるしょ

C 3階のトイレにしよ💖

C 人こないし!

D (いいねのスタンプ)

希望 えっ、そこまでは...? さすがにやりすぎじゃない? はあー...どうしよう...
美由ちゃん、あのポーチ小学生の時から大事にしてたのに...。そうだ、恵美ちゃんだったら、どうするかな?

ナレー 希望はふっと、恵美の言葉を思い出した。「神様はいつも助けてくれるし、いつも私に優しくしてくれるの。だから他の人にも優しくしてあげたいの。」

希望 ……美由ちゃんに優しくしよう。

ナレー 希望は、友達の悪口に同調してしまった罪悪感を抱えつつも、LINEグループの友達にバレないように美由を助ける作戦をたてた。

<学校>

ナレー 翌日。希望はマスクをつけて「風邪気味だから」と言って、ずっと友達から離れて過ごしていた。休み時間、れな達がコソコソ、クスクスしながら美由の机をチラチラ見ていた。

れな （小さな声で）美由のポーチ、もーらい。やっぱり、隠すよりトイレで流しちゃおう。

ナレー その声を聞いて、希望はパニックになった。れな達が美由のポーチをトイレに流してしまったら、美由にポーチのありかを教えることができなくなってしまう。美由のポーチを盗んで教室を出た れなたちを、希望はあわてて追いかけた。

希望 どうしよう、どうしよう……。なんて言って止めたらいいんだろう。神様お願いします、どうか力を貸してください……！

ナレー 3階に続く階段をのぼったところで、希望はれなに追いついた。

希望 れな、ちょっと待って！

れな 遅いじゃん、希望。びびっちゃったのかと思った。

希望 れな、やっぱりやめよう、トイレに流すの。さすがにやりすぎだよ。

れな え？！ 希望も昨日賛成してたじゃん。今さら何いい子ぶってんのさ！

希望 とにかく、やめよう。ポーチも返そうよ。「廊下で拾った」って言えばまだごまかせるよ。だから返してあげて！

れな ちょっと、離して！ 離してってば！！（ドンツ）

希望 あっ……

「ドサッ」(重いものが落ち音)

れな 希望！ ごめんなさい……わたし……わたし……

恵美 希望ちゃん？ そこにいるの？ どうしたの大きい声出して……キャー——！！
希望ちゃん！！ しっかりして！！

「ピーポーピーポー」(救急車の音)

ナレー 騒ぎを聞きつけた恵美が先生を呼び、希望はすぐ救急車で病院に運ばれた。れなたちはぼう然としていたが、やがて事の重大さに気づいて泣きじゃくりはじめた。そんなれなたちを、先生が職員室に連れて行った。

<病院>

ナレー 階段から落ちて、希望は左足首を捻挫してしまった。倒れたしょうげきで少し気をうしなってしまったが、幸いなことに、頭は無事だった。希望が病院に運ばれたと聞いて、両親も弟も慌ててかけつけた。みんな、目を真っ赤に泣きはらしていた。

母 希望……！ もう……心配したんだから……。

父 お医者さんによると、手術の必要はないそうだ。本当によかったよ……。

希望 心配かけてごめんなさい。でもみんな、そんなに泣かなくても……。それに、あきと、今日は次の大会に向けて、大事な練習があるんじゃないのかな？

あきと 姉ちゃんが死んじゃったらどうしようって思ったら、僕、悲しくなっちゃって……。練習なんてどうでもいいよ。

母 今日と明日、様子を見て、あさって退院できるって。その間ママも泊まるから、困ったことがあったら言ってちょうだいね。

希望 ありがとう、ママ……。パパもあきともありがとう。

ナレー その日の夜。ケガはしてしまったが、病室のベッドで、希望の胸の中は不思議で安らいでいた。

希望 今日はいろんなことがあったなあ…。まさか、しばらくまつばづえ生活になるなんて思いもしてなかったし…。薬のおかげで痛みはないけど、トイレに行くのもけっこう大変…。（気づく）…そうか、今までは健康な体が当たり前だったんだな…。

ナレー 希望はふと、となりで寝ている母の顔を見た。

希望 ママも、パパも、あきともあんなに心配してくれて…。今まで、わたしのことなんてどうでもいいんだと思ってた。でも、そうじゃなかったんだね。これからはちゃんと感謝の気持ちを伝えなきゃ。ありがとう…。

ナレー 今まで当たり前だったことのありがたみに気づき、ふと希望の胸の奥が暖かくなった。

希望 けっきょくケガしちゃったけど、いじめを止められてよかった。れなはケガしなかったのかな…

ナレー れなにケガをさせられたのに、希望にはれなを恨む気持ちはまったくなかった。それよりも、絶対間に合わないと思っていたクリスマス会にギリギリ出られるとわかって安心する気持ちのほうが大きかった。あれこれ考えているうちに、希望は眠ってしまった。

<次の日、病院で>

ナレー 翌日。早くもまつばづえ生活に慣れてきた希望に、次々とお見舞いの人たちが来た。

母 まあ山田先生。娘がいつもお世話になっております。

山田先生 あのと看、何があったのか正直に話してほしい。

希望 …美由のポーチを隠そうと思って3階のトイレに向かったら、階段から足をすべらせて落ちてしまいました。

ナレー 山田先生は、その後のれなたちの様子を話してくれた。れなは、起きたことをすべて正直に先生に話していた。ポーチを隠そうとしたとき、希望が止めに入ったことも。もみあっているうちに希望を突き落としてしまったこと。ひどく泣きながら、自分のやったことは全部間違いだった、許してもらおうなんて思わないと、とても反省していたことも。

山田先生 いじめをしようとしていたことはいけませんが、間違いに気づいて止めるのは勇気がないとできないことだ。今回のことはこれ以上問わないから、あとで高橋からも声をかけてやってほしい。

ナレー 山田先生が帰ってから少しして、れながお見舞いに来た。

れな 希望。本当に...本当にごめんなさい。わたしが間違ってた...

希望 れな。気にしないで大丈夫だよ。

ナレー 仲直りできて、2人の胸が晴れた。また学校で会おうねと約束して、れなは帰っていった。

「絵文字福音」のパンフレットを出す

ナレー 恵美からもらったパンフレットを読んでいたとき、ちょうど恵美がお見舞いに来た。

恵美 希望ちゃん！大丈夫...？

希望 恵美ちゃん！来てくれてありがとう。全然、たいしたケガじゃないから安心して。

恵美 よかったあ...。あ、そのパンフレット。読んでくれたのね、うれしいー。

希望 今回のことで、大切なことにたくさん気づけたの。この「黒い心」って、自分には関係ないと思ってたけど、そうじゃなかった。友達が悪口に同調しちゃったり、弟のかつやくを素直に喜べなかったり、自分にはないものばかりだーっていつも不満ばかりで、それを他人のせいにしてた。

黒い心をいっしゅん出してまたすぐ隠す

希望 それが「罪に汚れた心」だったのね。

ナレー 希望の言うことを、恵美はほほえみながら聞いていた。

希望 恵美ちゃんも「同じだよ」って言ってくれたけど、恵美ちゃんはいつも優しいよね。ここに書いてあるとおり、イエス様を信じれば心が平和になれるのかな？

恵美 もちろん！イエス様が私のことを愛して心配して、十字架でご自分の命をささげるまで罪から助けてくれたことを考える時、心が暖かくなって安らかな気持ちになるよ。

赤い血をいっしゅん出してまたすぐ隠す

希望 こんなわたしでも愛して、心配してくれるのかな？

恵美 イエス様は希望ちゃんのことにも愛してるよ。もし希望ちゃんがそう望むなら、きっと平和の心をプレゼントしてあげたいと思っているはずよ。

白い心をいっしゅん出してまたすぐ隠す

希望 どう頼めばいいの？

恵美 お祈りを通して神様に話しかければいいのよ。自分が罪ある心を神様に認めて、パンフレットに書いてあるように、イエス様がわたしたちのために死んで三日後によみがえったことを信じて、「罪を赦して心を綺麗にしてください」と頼めば、イエス様は希望ちゃんに平和の心と永遠の命を与えると約束しているよ。

希望 だったら、わたし、神様に今頼みたい。

ナレー希望は頭を下げ、心から神様にそう頼んだ。頭を上げて、恵美の方に微笑んだ。

恵美 どう？

希望 私のクリスマスの願いごと、神様に叶えてもらった気がする！ でもまだまだイエス様のことは知らないから、もっとお話を聴いてみたい。まずは明日のクリスマス会、とっても楽しみにしてるね。

緑の芽をいっしゅん出してまたすぐ隠す

恵美 イエス様からのプレゼントは、平和の心だけじゃないの！ イエス様を信じる人は、天国に行けると聖書は約束してるよ！そして成長すればするほど、たくさんの素敵なこともあるわ！

キラキラマークを出す

希望 嬉しいー 神様、この素敵なプレゼント、ありがとう！

キラキラマークを隠す

ナレー 希望は上を向きながら神様に感謝した。そして恵美の方を見て、二人はほほえみ合った。